

令和5年度

大阪府中学生チャレンジテスト  
結果概要(第3学年)

柏原市教育委員会

## 1. 調査目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒の課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 大阪府教育委員会が、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (3) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組みを通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (4) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (5) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

## 2. 調査概要

- (1) 調査日                      令和5年9月5日（火）
- (2) 対象学年                    中学校 第3学年全生徒
- (3) 調査内容                    国語・社会・数学・理科・英語・アンケート調査

※調査問題・結果資料は、大阪府ホームページ内に掲載されています。

調査問題 (R5) :

[https://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/challenge/challenge\\_05\\_mondai.html](https://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/challenge/challenge_05_mondai.html)

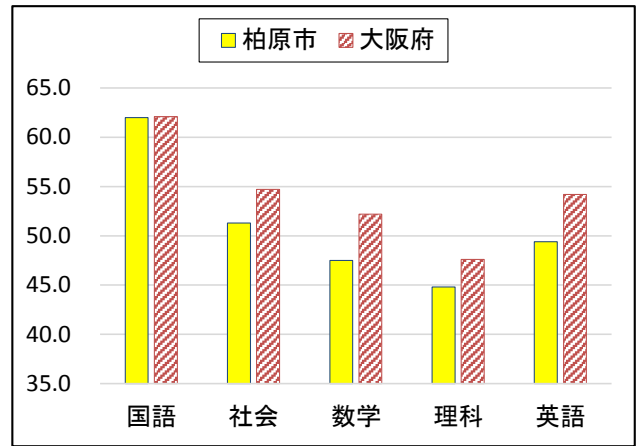
結果資料 (R5) :

<https://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/challenge/r05challenge-kekka.html>

① 各教科の平均点

	柏原市	大阪府	差(市-府)
国語	62.0	62.1	▲ 0.1
社会	51.3	54.7	▲ 3.4
数学	47.5	52.2	▲ 4.7
理科	44.8	47.6	▲ 2.8
英語	49.4	54.2	▲ 4.8

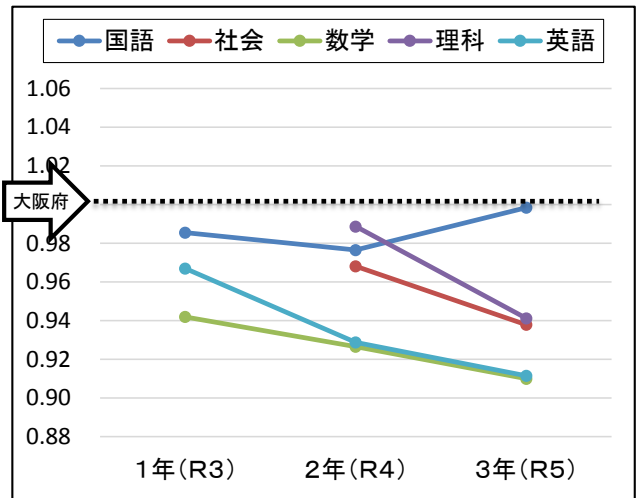
※社会・理科で選択された問題が異なる場合(下線)は、各結果の平均値を示している。



② 同一集団の経年変化(対大阪府比)

	1年(R3)	2年(R4)	3年(R5)
国語	0.99	0.98	1.00
社会		<u>0.97</u>	0.94
数学	0.94	0.93	0.91
理科		<u>0.99</u>	0.94
英語	0.97	0.93	0.91

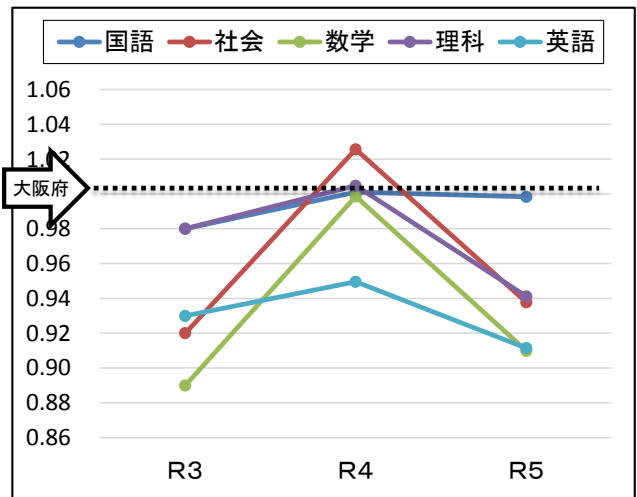
※社会・理科で選択された問題が異なる場合(下線)は、各結果の平均値を示している。



③ 前年度までの3年生との比較(対大阪府比)

	R3	R4	R5
国語	0.98	1.00	1.00
社会	<u>0.92</u>	1.03	0.94
数学	0.89	1.00	0.91
理科	<u>0.98</u>	1.00	0.94
英語	0.93	0.95	0.91

※社会・理科で選択された問題が異なる場合(下線)は、各結果の平均値を示している。



① 各教科の平均点

▼全教科で、府の平均点を下回った(国語は同等)。特に、数学では4.7点、英語では4.8点下回った。

② 同一集団の経年変化(対大阪府比)

○国語は、1・2年次よりも数値が上昇しており、大阪府と同等の結果となった。

▼その他の教科は、1・2年次よりも数値が低下している。

③ 前年度までの3年生との比較(対大阪府比)

○国語は、昨年度と同等の結果となった。

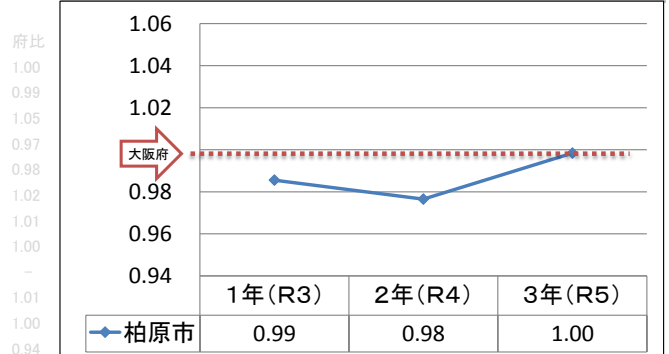
▼その他の教科は、昨年度よりも数値が低下している。

	平均点
柏原市	62.0
大阪府	62.1

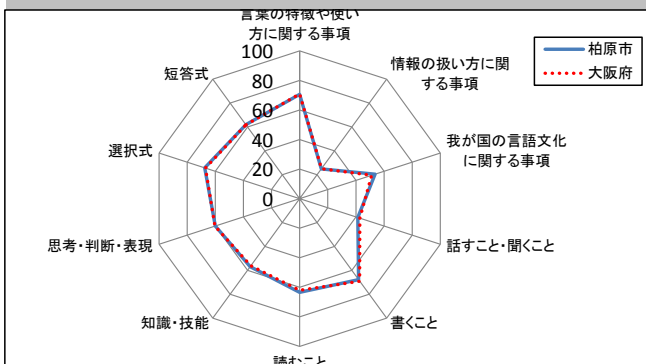
※得点率(%)=平均点/設問数

分類	区分	対象設問数(問)	得点率(%)※	
			柏原市	大阪府
学習指導要領の領域等	知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	70.6	70.9
		情報の扱い方に関する事項	24.9	25.1
	思考力・判断力・表現力等	我が国の言語文化に関する事項	53.6	51.2
		話すこと・聞くこと	41.3	42.8
		書くこと	67.7	69.1
評価の観点	知識・技能	63.4	62.0	
	思考・判断・表現	56.9	56.2	
	主体的に学習に取り組む態度	60.0	60.2	
問題形式	選択式	—	—	
	短答式	15	67.5	67.0
	記述式	15	61.9	61.8
		3	44.3	47.3

◆同一生徒集団の経年変化（対大阪府比）



◆区分別レーダーチャート

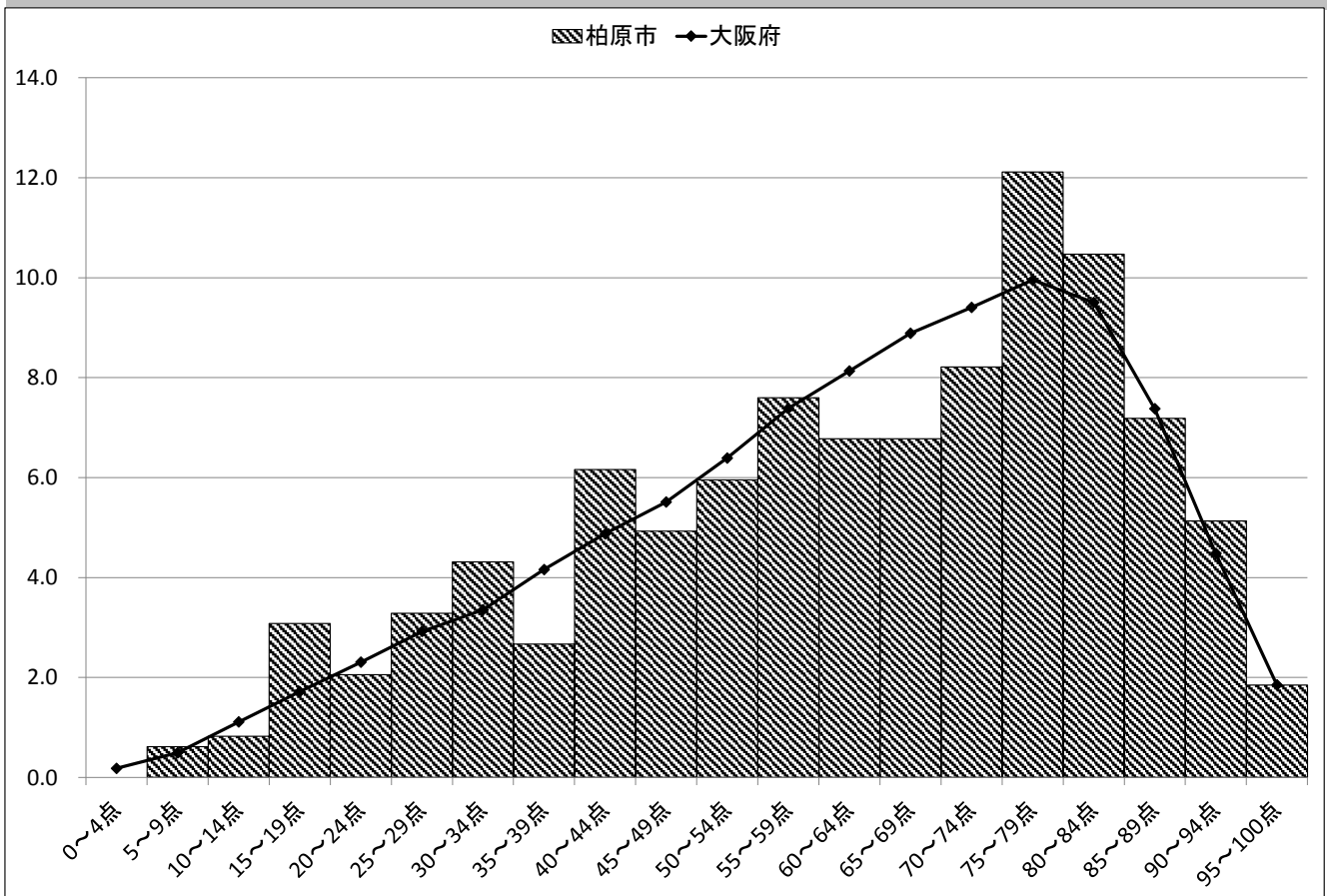


◆特徴的な傾向

- 全体の平均点は、府と同等である。
- 得点率では、「我が国の言語文化に関する事項」「読むこと」の領域で、1ポイント以上府を上回っている。
- 同一生徒集団の経年変化(対大阪府比)では、2年次より上昇している。

○印: 成果 ▼印: 課題

◆得点別分布グラフ(横軸: 得点、縦軸: 割合)



○府と比較して正答率が高い問題

問題番号	三	6			
問題の概要	手紙の下書き中の空欄に入る後付けの書き方として適しているものを選択する				
出題の趣旨	手紙の後付けについて理解することができる				
領域	書くこと	評価	思考・判断・表現	形式	選択式

	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	44.8	0.8
大阪府	36.2	1.0

正答

イ

・府と比較して正答率が高い問題である。無解答率も低い。  
・最も多い誤答は、回答類型4「エ」(33.1%)である。

6 次のア～エのうち、手紙の下書き中の空欄に入る後付けの書き方として最も適しているものを選びなさい。

ア 青川中学校三年二組 水野なつき  
郷土資料館 山田優子 様  
令和五年十月十七日

イ 青川中学校三年二組 水野なつき  
郷土資料館 山田優子 様  
令和五年十月十七日

ウ 青川中学校三年二組 水野なつき  
郷土資料館 山田優子 様  
令和五年十月十七日

エ 青川中学校三年二組 水野なつき  
郷土資料館 山田優子 様  
令和五年十月十七日

青川中学校の三年生は、自分たちの住む地域を伝える文化について調べており、十月月中旬に、郷土資料館の山田さんの、「青川市に古くから伝わる青川踊り」というテーマの講演を聞きました。この講演を聞いた水野さんは、山田さんに手紙を書こうとしました。次の「手紙の下書き」を読んで、あとの問いに答えなさい。(なお、設問の関係で「手紙の下書き」中に漢字が書かれていない箇所があります。)

【手紙の下書き】

拝啓

あ

い、先日は青川踊りについて大変興味深いお話をしていただき、ありがとうございました。青川踊りは、これまでも市のイベントなどで見かける機会があったため、どのような踊りかを知っていました。しかし、青川踊りを専門に研究されている山田さんから話をうかがったことで、歌詞や衣装、踊りの動作にめられた意味などを、新たに知ることができました。特に私が驚いたのは、青川踊りが三百年も前から人々に引き継がれてきたこと。このようなことを知り、青川市に住む中学生として誇りに思いました。その一方で、青川踊りを踊れる人が年々減っているというお話をうかがい、もったいないことだと感じました。

お話の最後に、郷土資料館で土日祝日に青川踊りの体験ができることをご紹介いただきました。そこで、来月の十一月十八日に青川中学校から友人四人で参加したいと考えています。参加可能でしょうか。おしいことは存じますが、よろしくお願ひいたします。

う

え

▼府と比較して正答率が低い、無解答率が高い問題

問題番号	三	7			
問題の概要	メールの下書き中の空欄に事前に確かめておきたいことを書く				
出題の趣旨	伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書くことができる				
領域	書くこと	評価	思考・判断・表現	形式	記述式

	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	60.2	25.7
大阪府	65.7	21.2

正答例

(なお、)すべての体験が終わるのは何時ごろになりますか。また、急に欠席することになった場合の連絡はどうすればよいかについても教えてください。【七十八字】

・府と比較して正答率が低く、無解答率も高い問題である。

【確認事項】  
・すべての体験が終わる時刻について  
・急な欠席の場合の連絡について

問い 水野さんは、「水野さんが返信するメールの下書き」中の「B」の部分に、事前に確かめておきたいこととして、次の【確認事項】について書くようになっています。あなたが水野さんなら、どのように書きなさい。書き出しの「(なお、)」に続けて、相手に失礼のないように六十文字以上、百字以内で書きなさい。

宛先: ○○○○@○○○.○○.jp

件名: 手紙のお礼及び青川踊りの体験について

青川中学校 水野なつき 様

2023/10/19

郷土資料館の山田です。お手紙ありがとうございました。  
また、郷土資料館の青川踊りの体験に参加希望ということで、大変うれしく思います。ただ、11月18日はすでに定員を満たしております。せっかくのところ申し訳ありません。11月19日以降の土日祝日をおすすめしたいと思います。  
なお、11月23日の13時からの体験は、青川踊りの体験の後に、特別企画として青川踊りに使う楽器の演奏体験もご案内できます。あわせて考えていただけたらと思います。  
水野さんたちとお会いできることを楽しみにしております。

郷土資料館 山田優子

宛先: △△△△@△△△.△△.jp

件名: 青川踊り及び演奏体験への参加について

郷土資料館 山田優子 様

2023/10/20

青川中学校の水野です。お返事ありがとうございます。  
山田さんからのメールを読んで友人たちと話し合った結果、11月23日にかがひ、13時からの青川踊りの体験だけでなくその後の楽器の演奏体験にも参加したいと考えています。よろしいでしょうか。  
当日は、開始10分前に郷土資料館に到着する予定です。  
なお、

B

青川中学校 水野なつき

【山田さんから届いたメール】

【水野さんが返信するメールの下書き】

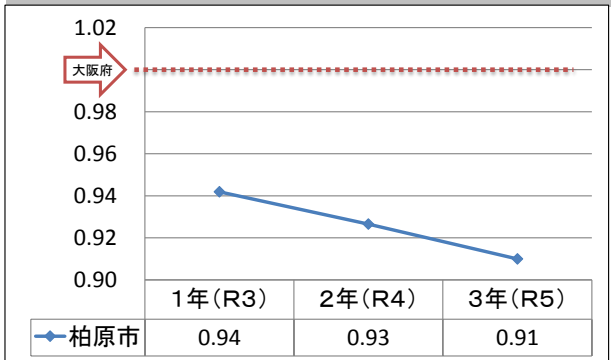
7 水野さんが手紙を出した後、水野さんに郷土資料館の山田さんから返事が学校にメールで届きました。次は「山田さんから届いたメール」と、「水野さんが返信するメールの下書き」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

	平均点
柏原市	47.5
大阪府	52.2

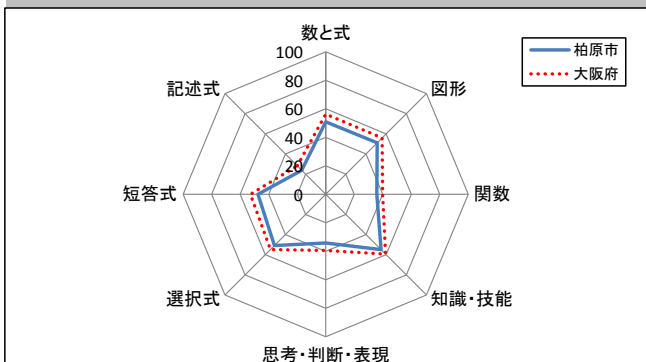
\*得点率(%)=平均点/設問数

分類	区分	対象設問数(問)	得点率(%)*	
			柏原市	大阪府
学習指導要領の領域等	数と式	9	50.9	56.2
	図形	9	51.0	56.0
	関数	8	35.8	40.0
	データの活用	6	52.6	56.7
評価の観点	知識・技能	20	54.9	59.4
	思考・判断・表現	12	34.2	39.4
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—
問題形式	選択式	13	50.9	54.9
	短答式	17	47.5	52.8
	記述式	2	23.8	28.2

◆同一生徒集団の経年変化（対大阪府比）



◆区分別レーダーチャート

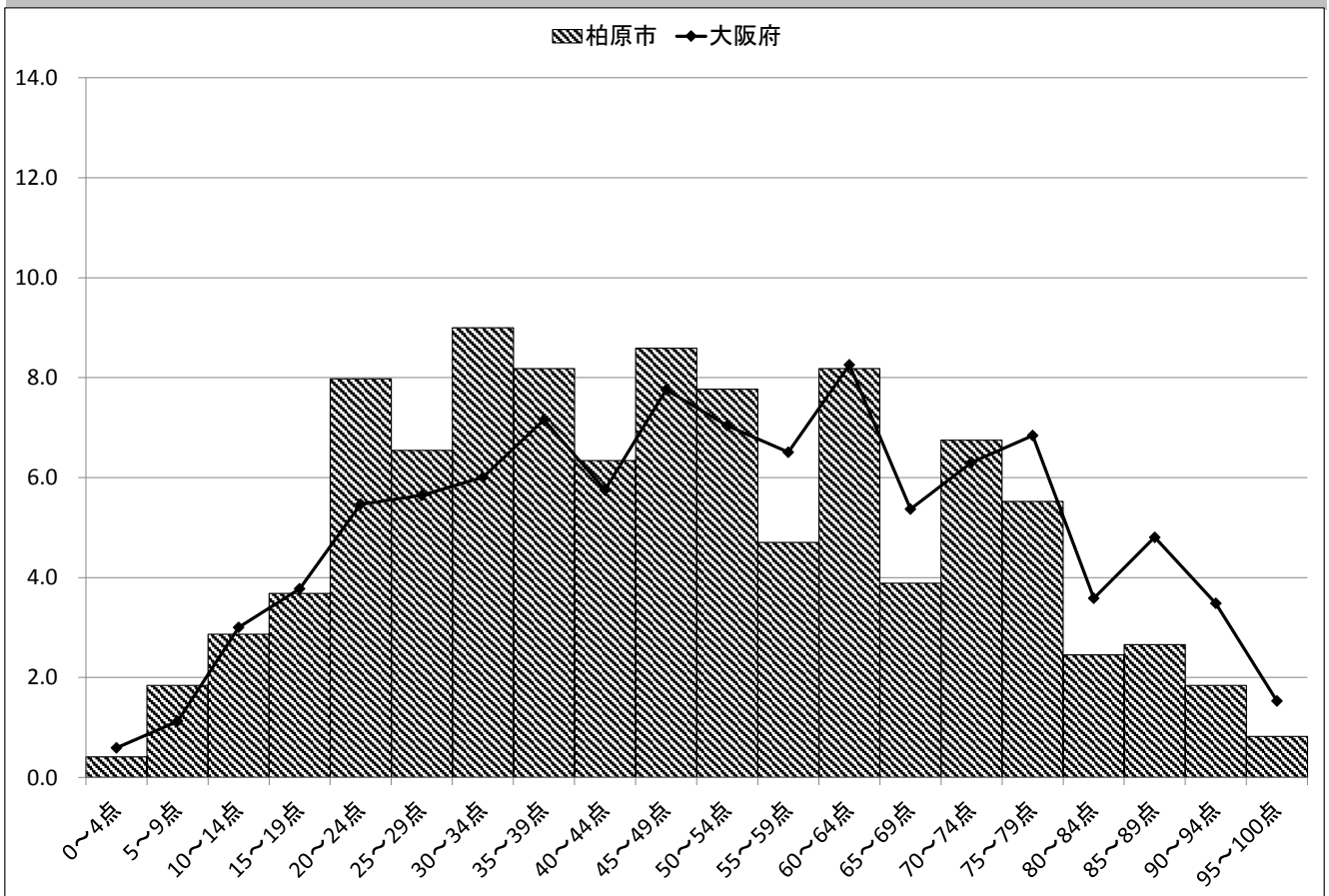


◆特徴的な傾向

- ▼全体の平均点は、4.7点府を下回っている。
- ▼得点率がすべての区分において府を下回っている。特に、「数と式」「思考力・判断力・表現力」「短答式」の区分で、5ポイント以上府を下回っている。
- ▼同一生徒集団の経年変化(対大阪府比)では、1・2年次より低下している。
- ▼得点別分布では、30点前後の割合が府より大きく、80点以上の割合が府より小さい。

○印：成果 ▼印：課題

◆得点別分布グラフ(横軸：得点、縦軸：割合)



▼府と比較して正答率が低い問題

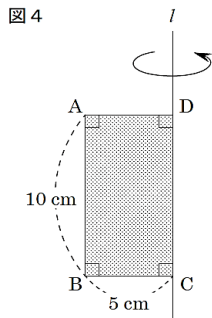
問題番号	1	(3)			
問題の概要	$\frac{6}{\sqrt{2}} + \sqrt{8}$ を計算する				
出題の趣旨	根号を含む四則計算ができる				
領域	数と式	評価	知識・技能	形式	短答式

(3)  $\frac{6}{\sqrt{2}} + \sqrt{8}$  を計算しなさい。 正答  $5\sqrt{2}$

・府と比較して正答率が低い問題である。

問題番号	3	(3)			
問題の概要	長方形の一边を軸として1回転させてできる立体の体積を求める				
出題の趣旨	長方形の1辺を軸とする回転によってできる円柱の体積を求めることができる				
領域	図形	評価	知識・技能	形式	短答式

(3) 図4の四角形 ABCD は、AB = 10 cm、BC = 5 cm の長方形です。この長方形を、頂点 C、D を通る直線  $l$  を回転の軸として1回転させて立体をつくります。このとき、できる立体の体積を求めなさい。ただし、円周率は  $\pi$  とします。



▼府と比較して無解答率が高い問題

問題番号	6	(2)			
問題の概要	連続する5つの奇数の和が5の倍数であることの説明を完成する				
出題の趣旨	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる				
領域	数と式	評価	思考・判断・表現	形式	記述式

⑥ 正の奇数において、連続する5つの奇数の和がどんな数になるかを考えます。

- 1、3、5、7、9 のとき  $1 + 3 + 5 + 7 + 9 = 25 = 5 \times 5$
- 7、9、11、13、15 のとき  $7 + 9 + 11 + 13 + 15 = 55 = 5 \times 11$
- 11、13、15、17、19 のとき  $11 + 13 + 15 + 17 + 19 = 75 = 5 \times 15$

これらの結果から、次のように予想ができます。

予想

正の奇数において、連続する5つの奇数の和は、5の倍数になる。

正答例

$(n$  を 0 以上の整数とすると、  
 連続する 5 つの奇数は、 $2n+1, 2n+3, 2n+5, 2n+7, 2n+9$  と表される。  
 それらの和は、  
 $(2n+1) + (2n+3) + (2n+5) + (2n+7) + (2n+9)$   
 $(\Rightarrow) 10n+25$   
 $= 5(2n+5)$   
 $2n+5$  は整数だから、 $5(2n+5)$  は 5 の倍数となる。  
 (したがって、正の奇数において、連続する 5 つの奇数の和は、5 の倍数になる。)

・府と比較して無解答率が高い問題である。また、全問題のうち、2番目に無解答率が高い。

	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	50.1	9.0
大阪府	60.7	9.4

	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	52.8	11.5
大阪府	62.8	10.3

正答  $250\pi$  (cm<sup>3</sup>)

・府と比較して正答率が低い問題である。

	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	29.0	43.1
大阪府	34.0	36.7

② 予想がいつでも成り立つことは次のように説明できます。説明を完成しなさい。

説明

$n$  を 0 以上の整数とすると、  
 連続する 5 つの奇数は、 $2n+1, 2n+3, 2n+5, 2n+7, 2n+9$  と表される。それらの和は、

$$(2n+1) + (2n+3) + (2n+5) + (2n+7) + (2n+9)$$

$$=$$

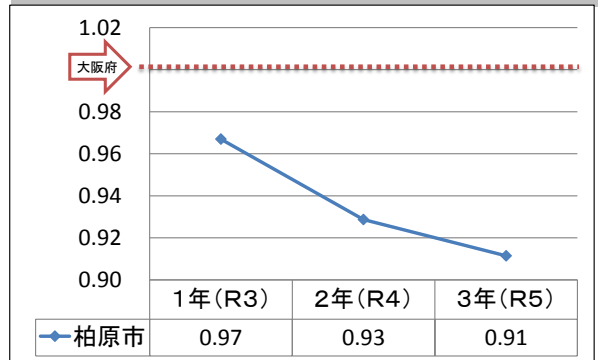
したがって、正の奇数において、連続する 5 つの奇数の和は、5 の倍数になる。

	平均点
柏原市	49.4
大阪府	54.2

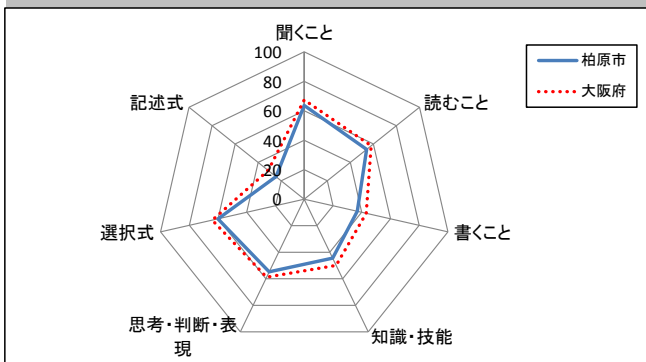
※得点率(%)=平均点/設問数

分類	区分	対象設問数(問)	得点率(%)※	
			柏原市	大阪府
学習指導要領の領域等	聞くこと	10	63.6	67.4
	読むこと	11	54.2	58.1
	話すこと[やり取り]	—	—	—
	話すこと[発表]	—	—	—
	書くこと	14	36.9	43.1
評価の観点	知識・技能	19	44.4	50.0
	思考・判断・表現	16	54.8	58.8
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—
問題形式	選択式	25	60.1	64.0
	短答式	—	—	—
	記述式	10	24.4	31.3

◆同一生徒集団の経年変化（対大阪府比）



◆区別別レーダーチャート

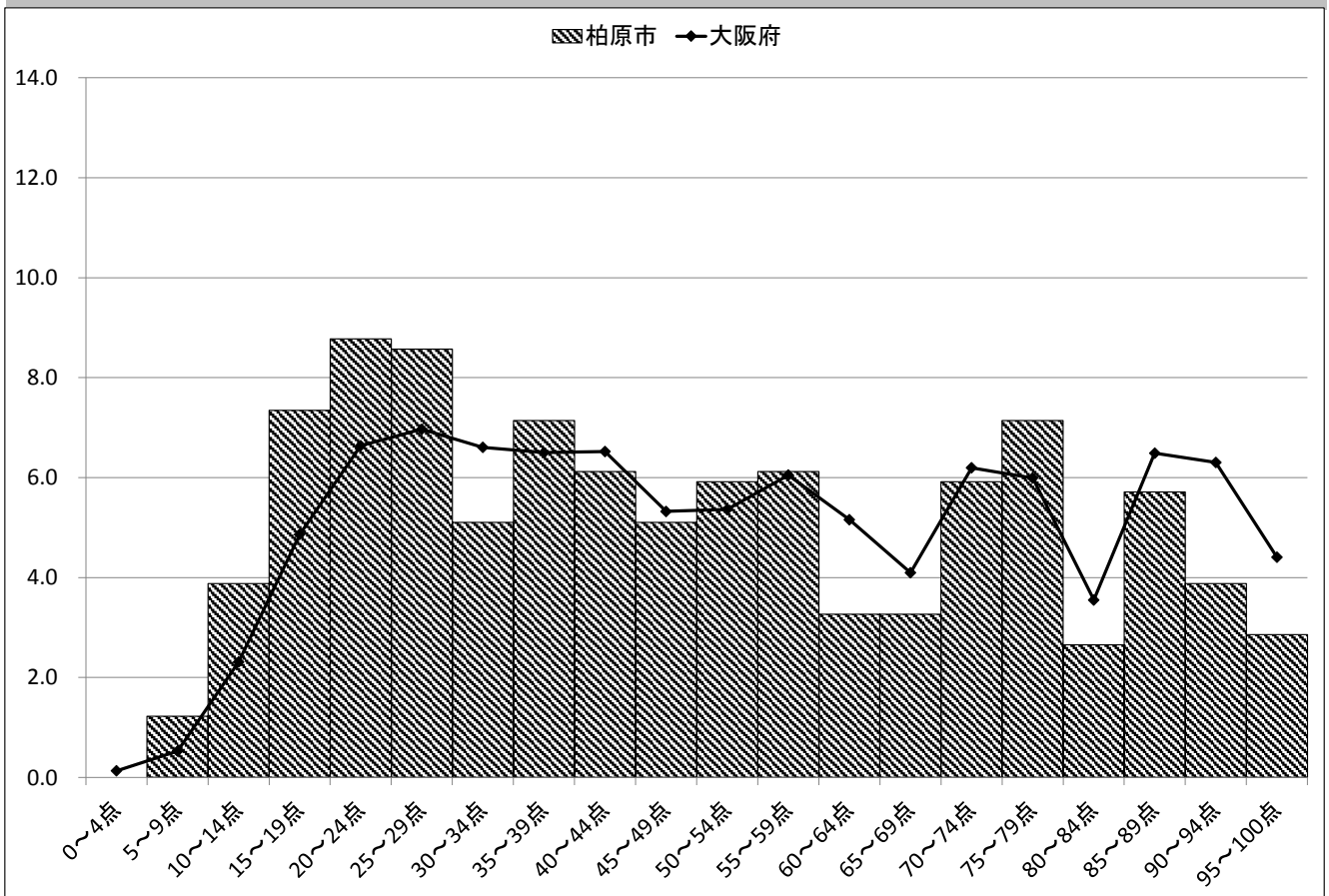


◆特徴的な傾向

- ▼全体の平均点は、4.8点府を下回っている。
- ▼得点率がすべての区分において府を下回っている。特に、「書くこと」「知識・技能」「記述式」の区分で、5ポイント以上府を下回っている。
- ▼同一生徒集団の経年変化(対大阪府比)では、1・2年次より低下している。
- ▼得点別分布では、30点未満の割合が府より大きく、80点以上の割合が府より小さい。

○印: 成果 ▼印: 課題

◆得点別分布グラフ(横軸: 得点、縦軸: 割合)





▼府と比較して正答率が低い、無解答率が高い問題

問題番号	5	(2)	
問題の概要	メモの内容と合うように、スピーチ原稿の下線部に2語の英語を書く( be surprisedの過去形)		
出題の趣旨	メモの内容と合うように、スピーチ原稿の下線部に3語の英語を書く(現在完了形の疑問文)		
領域	書くこと	評価	知識・技能 形式 記述式

	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	17.6	27.3
大阪府	27.5	20.5

問題番号	5	(3)	
問題の概要	メモの内容と合うように、スピーチ原稿の下線部に3語の英語を書く(現在完了形の疑問文)		
出題の趣旨	与えられた情報に基づいて、指示された語数で正しい英語を書くことができる		
領域	書くこと	評価	知識・技能 形式 記述式

	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	30.4	26.9
大阪府	42.4	19.5

⑤ タケシは、「私の夏休み (my summer vacation)」について、英語の授業でスピーチをするために、次の【メモ】を作成しました。【メモ】をもとに、あとの【スピーチ原稿】中の下線部(1)～(5)に、それぞれ指示された語数の英語を入れて、【スピーチ原稿】を完成させなさい。

【メモ】

「私の夏休み」

山のキャンプ	この夏休み、みなさんは何を楽しみましたか。私はおじと山へキャンプに行きました。	私たちは、山で夕食を作ることや食べることを楽しみました。私は夕食後、夜空を見ました。そのとき、私は驚きました。満天の星が見えたからです。
満天の星	その満天の星はとても美しかったので、私はその写真を撮りました。これがその満天の星の写真です。	みなさんは、今までにこのような美しい夜空を見たことはありますか。私はこのような夜空をそのとき初めて見ました。
幸せな時間	美しい夜空は、私たちに幸せな時間を与えてくれると思います。	私は今夜、夜空を見ようと思えます。みなさん、今夜、夜空を見るのはどうですか。

【スピーチ原稿】

My Summer Vacation


Today I'll talk about my summer vacation.

(1) ( 3語 ) enjoy this summer vacation? I \*went camping in the mountains with my uncle. We enjoyed cooking and eating dinner in the mountains. After dinner, I saw the \*night sky. Then, I (2) ( 2語 ) because I saw a \*star-filled sky.

The star-filled sky was very beautiful, so I took a picture of it. This is the picture of the star-filled sky. Have (3) ( 3語 ) \*such a beautiful night sky? I saw such a night sky \*for the first time then.

I think a beautiful night sky (4) ( 2語 ) a happy time. I will see the night sky \*tonight. Everyone, (5) ( 2語 ) seeing the night sky tonight?

Thank you.



正答例 (2) was surprised

正答例 (3) you ever seen

▼府と比較して正答率が低い問題

問題番号	8	(1)	
問題の概要	会話文を読み、会話文の内容から、会話文中の空欄に入る適切な英文の組み合わせを選ぶ		
出題の趣旨	日常的な話題について、表とまとまりのある会話文を読み、話の概要を捉えて、内容の要点を正確に把握することができる		
領域	読むこと	評価	思考・判断・表現 形式 選択式

	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	55.5	1.2
大阪府	65.1	0.7

⑧ ケイコ (Keiko) と留学生のマイク (Mike) は、シーパーク (Sea Park) という水族館での体験プログラム (experience program) に関する【表 (table)】を見ながら話しています。【表】と【会話文】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【表】

Experience Programs	*Schedule			*Fee
*Feeding *Sea Turtles	10:20~10:50	13:10~13:40	15:10~15:40	100 *yen
*Backstage *Tour	10:30~11:00	13:00~13:30	14:30~15:00	500 yen
*Study Program about Sea Animals	11:00~11:30	14:15~14:45	15:30~16:00	300 yen
*Penguin *Parade	10:00~10:30	13:15~13:45		*Free

【会話文】

Keiko: Mike, have you ever been to "Sea Park"?  
 Mike: ( ① ) What is "Sea Park"?  
 Keiko: A lot of sea animals are in "Sea Park." There are experience programs, and we can learn many things about sea animals in "Sea Park."  
 Mike: That's good. I want to visit "Sea Park."  
 Keiko: OK, let's go next weekend. Are you free next Sunday?  
 Mike: Next Sunday is good, but my friend will come to my house at 16:00. ( ② )  
 Keiko: What time do you have to leave "Sea Park"?  
 Mike: I want to leave before 15:00.  
 Keiko: OK. I'll leave there with you then.  
 Mike: Thank you. What time will we meet?  
 Keiko: Let's meet at 10:00 at "Sea Park."  
 Mike: OK.  
 Keiko: Look at this table, Mike. Which experience program do you want to join?  
 Mike: I want to join "Backstage Tour" first.  
 Keiko: ( ③ ) We can learn about the way of \*raising sea animals from the \*keepers. Let's join "Backstage Tour" at 10:30.  
 Mike: Yes! After "Backstage Tour," let's \*look around "Sea Park" and eat lunch.  
 Keiko: OK. After that, I'll join "Feeding Sea Turtles." It \*begins at ( ④ ) . I want to feed sea turtles with keepers. Can you come with me?  
 Mike: Sorry, I want to watch "Penguin Parade" when you feed sea turtles.  
 Keiko: I see. And \*finally, let's join "Study Program about Sea Animals" to learn about the life of sea animals.  
 Mike: Sure. Let's enjoy "Sea Park"!

正答 エ

・府と比較して正答率が低い問題である。  
 ・最も多い誤答は、回答類型2「イ」(20.8%)である。

(1) 【会話文】中の ( ① ) ~ ( ③ ) には、次のA~Dの英文のいずれかが入ります。【会話文】の内容から、その組み合わせとして最も適しているものを、あとのA~Eから1つ選びなさい。

- A No. I haven't seen them since this morning.  
 B Me, too.  
 C So, I have to leave "Sea Park" early.  
 D I've never been there.
- ア ① A ② B ③ C      イ ① A ② C ③ B  
 ウ ① D ② B ③ C      エ ① D ② C ③ B

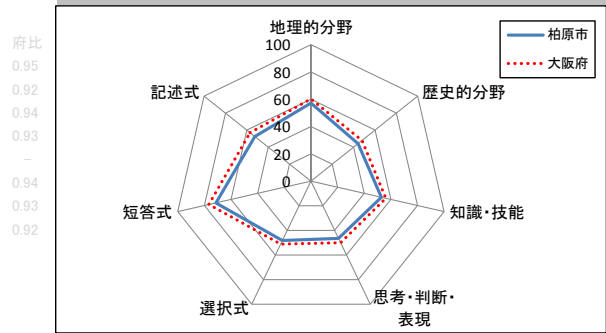
	平均点
柏原市	51.3
大阪府	54.7

統一問題(選択なし)

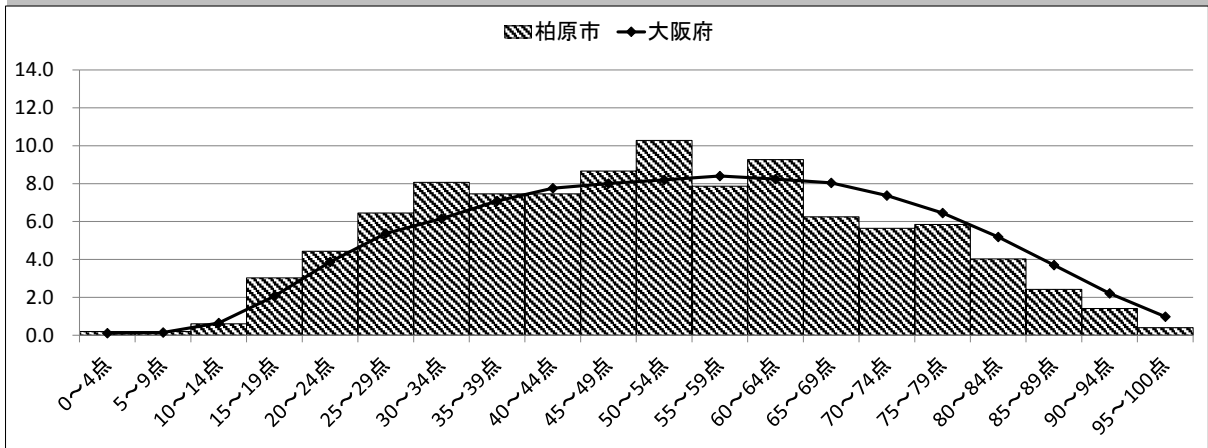
※得点率(%)=平均点/設問数

分類	区分	対象設問数(問)	得点率(%)**	
			柏原市	大阪府
学習指導要領の領域等	地理的分野	20	57.2	60.2
	歴史的分野	17	44.1	47.8
評価の観点	知識・技能	29	52.9	56.2
	思考・判断・表現	8	46.5	50.0
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—
問題形式	選択式	31	48.2	51.1
	短答式	4	71.3	76.7
	記述式	2	52.5	57.0

◆区別別レーダーチャート



◆得点別分布グラフ(横軸:得点、縦軸:割合)



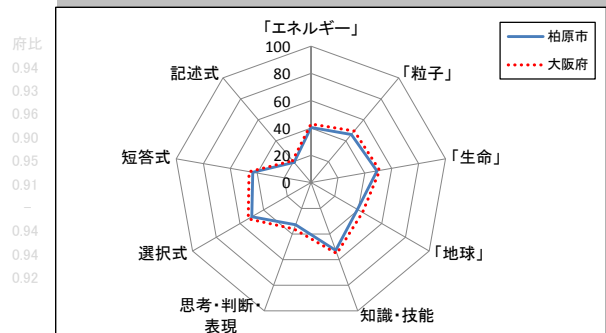
	平均点
柏原市	44.8
大阪府	47.6

選択C

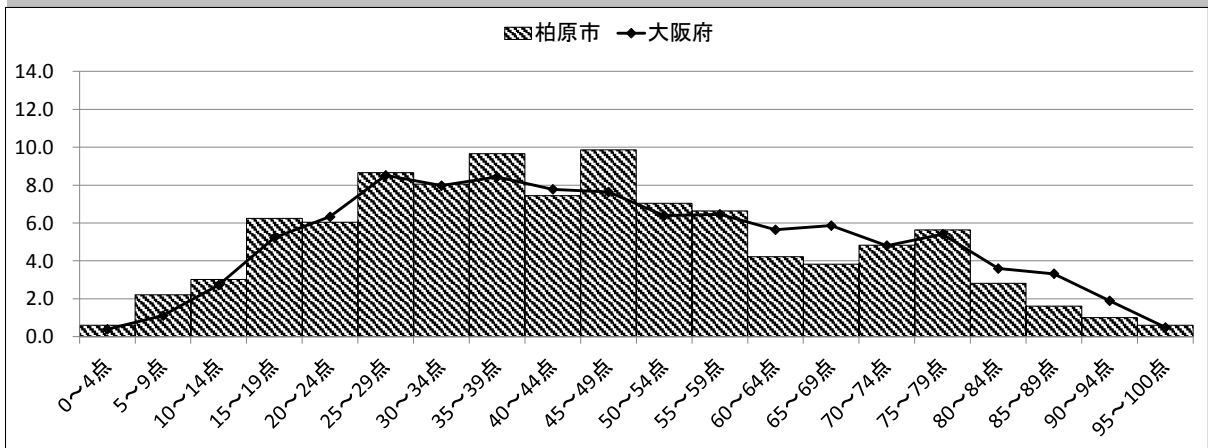
※得点率(%)=平均点/設問数

分類	区分	対象設問数(問)	得点率(%)**	
			柏原市	大阪府
学習指導要領の領域等	「エネルギー」	6	40.4	42.9
	「粒子」	6	46.1	49.4
	「生命」	12	49.0	51.1
	「地球」	6	39.3	43.7
評価の観点	知識・技能	19	52.7	55.3
	思考・判断・表現	11	32.9	36.2
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—
問題形式	選択式	16	49.9	53.0
	短答式	12	43.1	46.0
	記述式	2	19.3	20.9

◆区別別レーダーチャート



◆得点別分布グラフ(横軸:得点、縦軸:割合)



## 《質問項目一覧》

※本年度より質問項目が大幅に変更したため、経年変化分析はなし。

質問内容	府と比較
問1 文章や資料などを読むときに、どこが大事なところかを考えながら読んでいる。	▽
問2 わからないことや知りたいことがあったとき、図書館資料やインターネットなどで調べている。	
問3 授業中、思考ツールを使うなどして、自分の考えを整理したりまとめたりする場面がある。	
問4 授業中、PC・タブレットを使って、学級の友だちと意見を交換する場面はどれくらいありますか。 ※週1回以上	▼
問5 家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している。	▽
問6 あなたの学級は、違った考えや意見を受け入れる雰囲気がある。	
問7 学校などで、他の人と協力し合することができる。	
問8 難しいことがあっても、あきらめない。	
問9 テレビや新聞、インターネットで社会的な出来事に関するニュースを見ている。	▽
問10 普段(月曜日から日曜日)、1日平均どれくらいの時間、本(教科書は除く)を読みますか。 ※有無	◎
問11 普段(月曜日から日曜日)、1日平均どれくらいの時間、学習以外(ゲームやSNSなど)にスマートフォンやタブレットを使っていますか。 ※3時間以上	▽

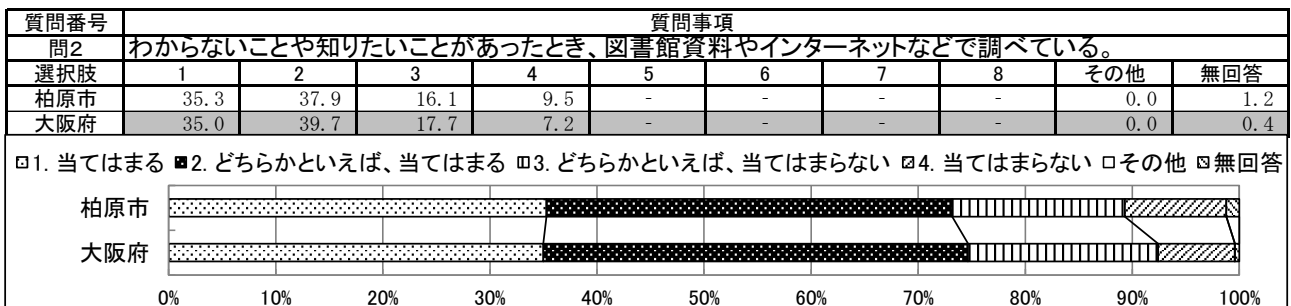
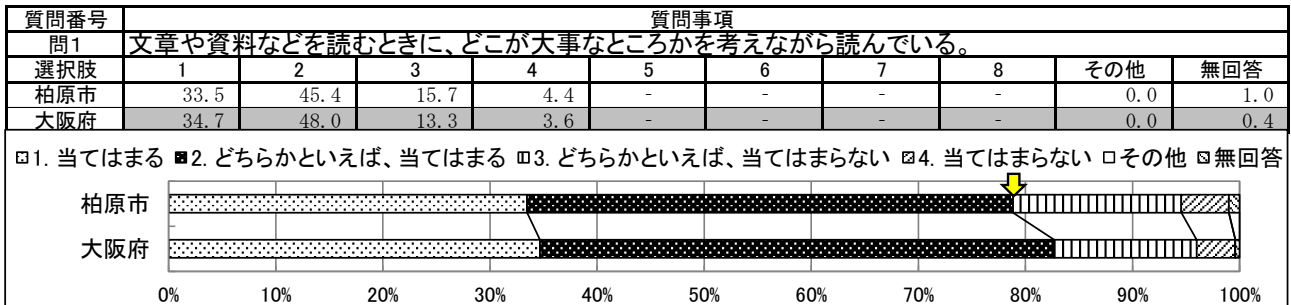
- ・大阪府と比較した結果を記載：「◎」+5以上 「○」+3以上 「▽」-3以下 「▼」-5以下
- ・肯定的回答について比較  
(一部時間等による比較もあり、※印で詳細を記載)

質問番号が塗りつぶされているもの(緑色)  
教科の平均点との相関関係が  
指摘されている項目(大阪府教育庁)

## 《結果概要》

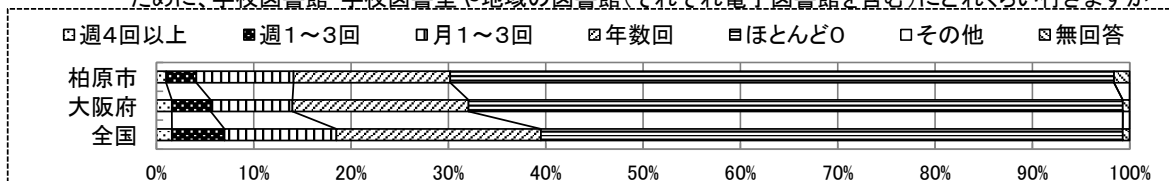
※大阪府との比較において特徴的なものを記載

- 学級の雰囲気、他者との協働、挑戦心等において、7~9割程度の生徒が肯定的な回答をしている。
- 7割以上の生徒が、日常的に短時間であっても読書をしている。
- ▼授業中に自分の考えを整理したりまとめたりする場面はある一方、大事な部分や要点を考えて読んだり、家で自身に必要な部分を考えて勉強したりすることに課題がある。  
(参考)全国学力・学習状況調査でも、「自身で計画的に家庭学習を行うこと」に課題があった。
- ▼各ツールで社会的な出来事に関するニュースを見る機会が少ない。  
(参考)全国学力・学習状況調査でも、「新聞を読む機会が少ない」という課題があった。
- ▼学習以外にスマートフォンやタブレットを日常的に長時間使っている生徒が多い。  
(参考)全国学力・学習状況調査でも、「ICT機器を勉強のために使う機会が少ない」という課題があった。



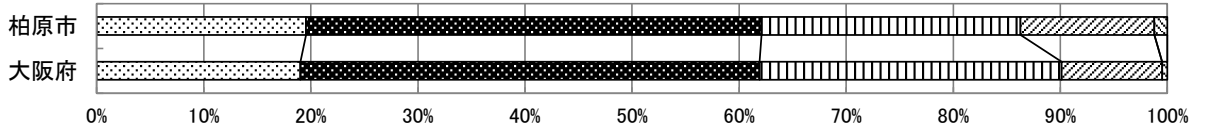
【参考】R5全国学力・学習状況調査 生徒質問紙 より

(21) 屋休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館(それぞれ電子図書館を含む)にどれくらい行きますか



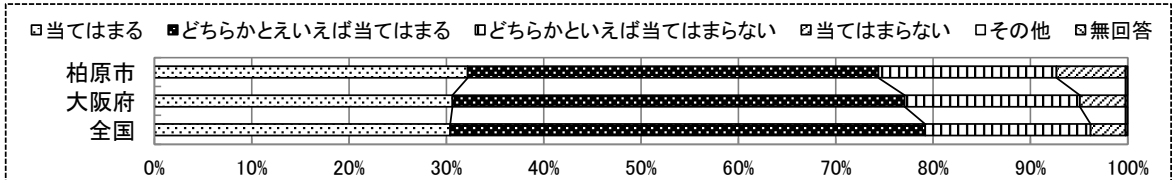
質問番号	質問事項									
問3	授業中、思考ツールを使うなどして、自分の考えを整理したりまとめたりする場面がある。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
柏原市	19.6	42.5	24.2	12.5	-	-	-	-	0.0	1.2
大阪府	19.0	42.9	28.2	9.4	-	-	-	-	0.0	0.5

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答



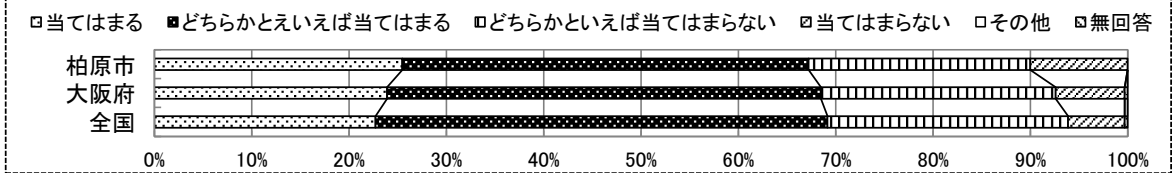
【参考】R5全国学力・学習状況調査 生徒質問紙 より

(37) 1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



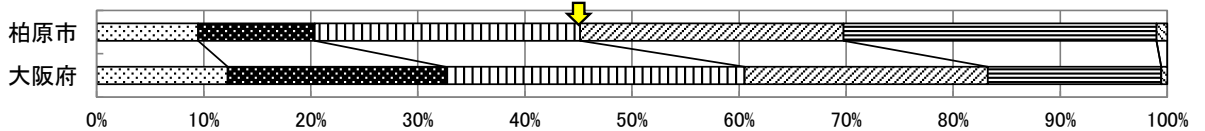
【参考】R5全国学力・学習状況調査 生徒質問紙 より

(38) 1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか



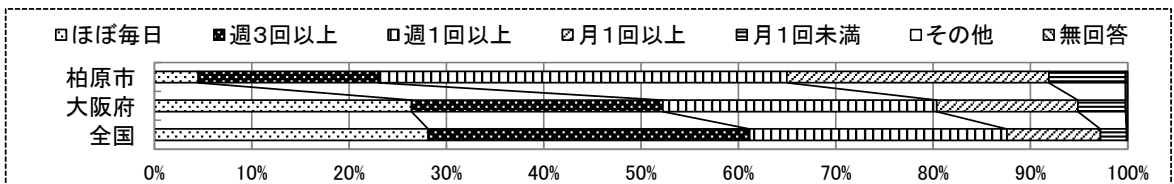
質問番号	質問事項									
問4	授業中、PC・タブレットを使って、学級の友だちと意見を交換する場面はどれくらいありますか。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
柏原市	9.5	10.9	24.8	24.6	29.2	-	-	-	0.0	1.0
大阪府	12.2	20.3	27.9	22.7	16.2	-	-	-	0.0	0.6

□1. ほぼ毎日 □2. 週3回以上 □3. 週1回以上 □4. 月1回以上 □5. 月1回より少ない □その他 □無回答



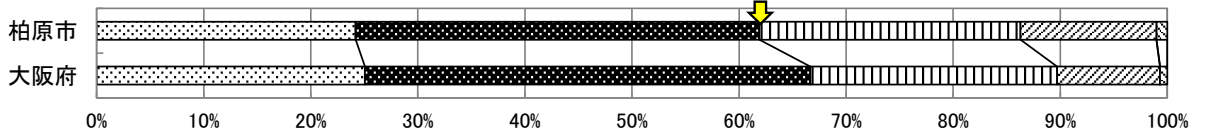
【参考】R5全国学力・学習状況調査 生徒質問紙 より

(33) 1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



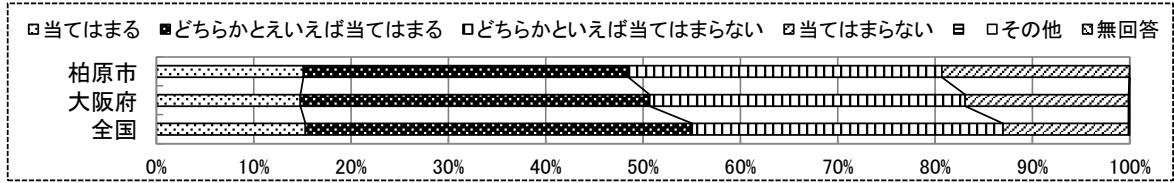
質問番号	質問事項									
問5	家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
柏原市	24.2	37.7	24.4	12.7	-	-	-	-	0.0	1.0
大阪府	25.1	41.6	23.1	9.6	-	-	-	-	0.0	0.7

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答



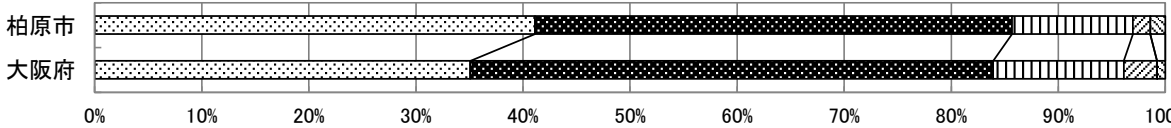
【参考】R5全国学力・学習状況調査 生徒質問紙 より

(16) 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)



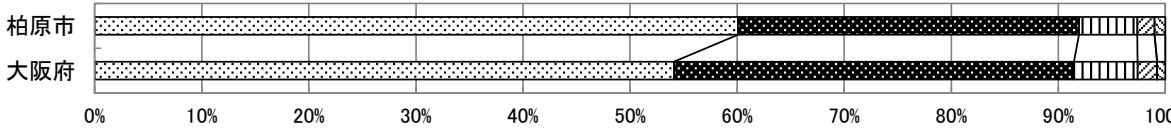
質問番号	質問事項									
問6	あなたの学級は、違った考えや意見を受け入れる雰囲気がある。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
柏原市	41.1	44.6	11.3	1.6	-	-	-	-	0.0	1.4
大阪府	35.1	48.8	12.2	3.1	-	-	-	-	0.0	0.8

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答



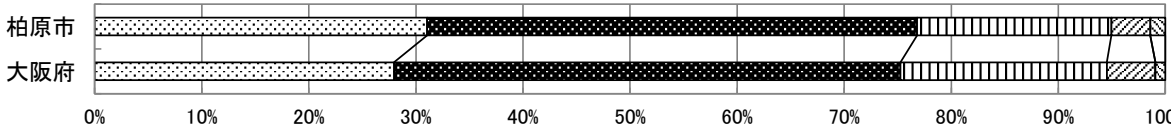
質問番号	質問事項									
問7	学校などで、他の人と協力し合うことができる。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
柏原市	60.1	31.9	5.4	1.6	-	-	-	-	0.0	1.0
大阪府	54.1	37.3	5.9	1.8	-	-	-	-	0.0	0.8

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答



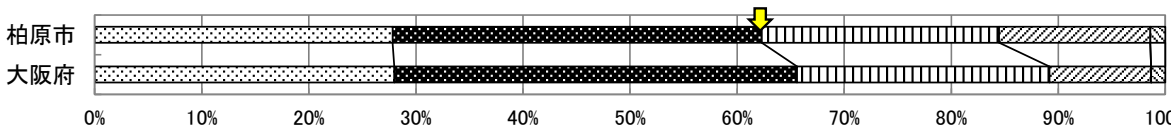
質問番号	質問事項									
問8	難しいことがあっても、あきらめない。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
柏原市	31.0	45.8	18.1	3.6	-	-	-	-	0.0	1.4
大阪府	28.0	47.3	19.3	4.5	-	-	-	-	0.0	0.9

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答



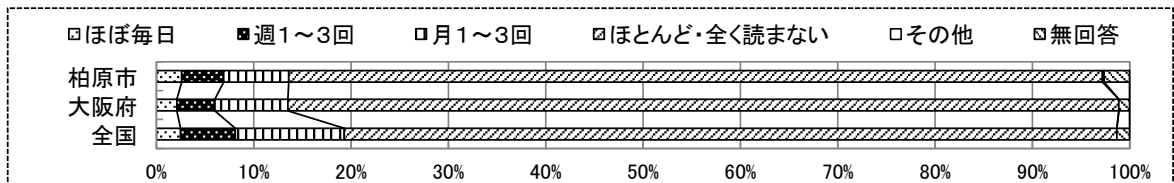
質問番号	質問事項									
問9	テレビや新聞、インターネットで社会的な出来事に関するニュースを見ている。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
柏原市	27.8	34.5	22.2	14.1	-	-	-	-	0.0	1.4
大阪府	28.0	37.6	23.6	9.5	-	-	-	-	0.0	1.3

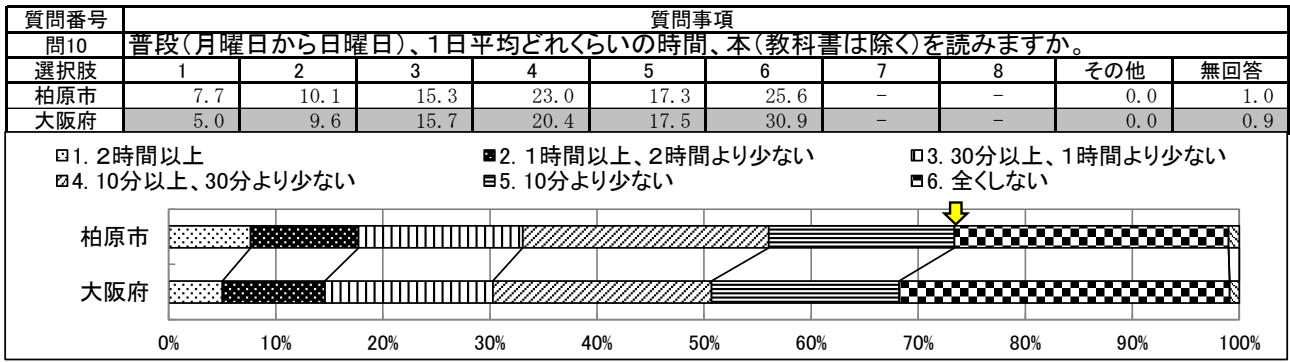
□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答



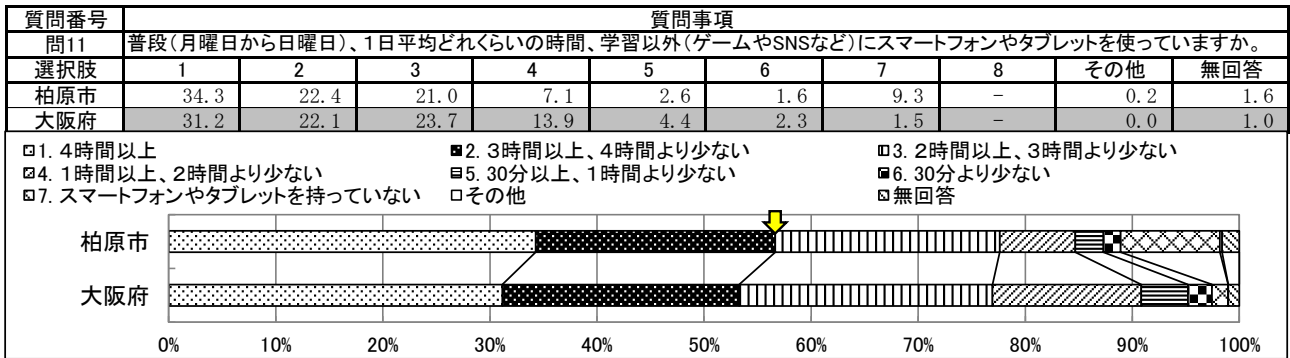
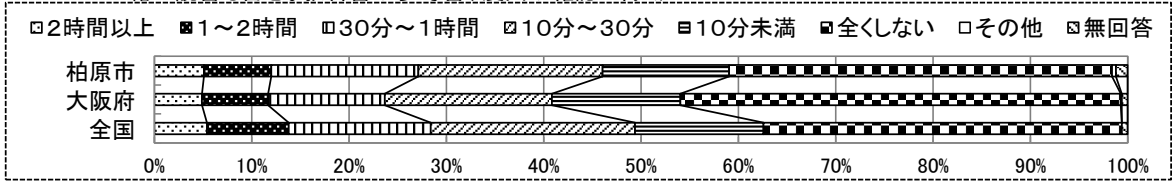
【参考】R5全国学力・学習状況調査 生徒質問紙 より

(23) 新聞を読んでいますか

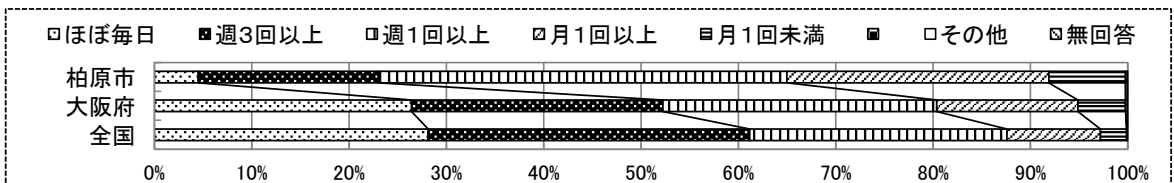




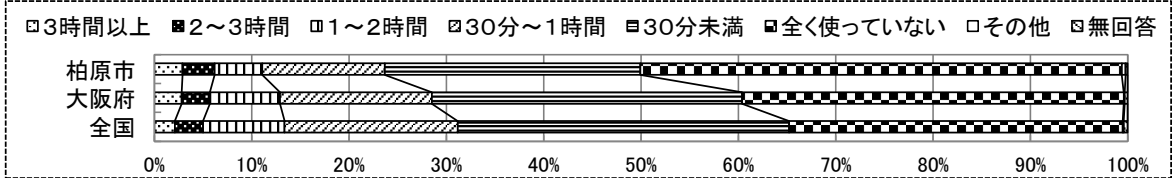
【参考】R5全国学力・学習状況調査 生徒質問紙 より  
 (20) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしめますか(電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)



【参考】R5全国学力・学習状況調査 生徒質問紙 より  
 (33) 1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



【参考】R5全国学力・学習状況調査 生徒質問紙 より  
 (35) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(遊びなどの目的に使う時間は除く)



# 今回の調査結果を受けて（総括）

## 《各教科の結果より》

※社会・理科で選択された問題が異なる場合（下線）は、各結果の平均値を示している。

### ① 平均点

		国語	社会	数学	理科	英語
3年	柏原市	62.0	51.3	47.5	44.8	49.4
	大阪府	62.1	54.7	52.2	47.6	54.2

### ② 同一集団の経年変化(対大阪府比)

		国語	社会	数学	理科	英語
3年	1年(R3)	0.99		0.94		0.97
	2年(R4)	0.98	<u>0.97</u>	0.93	<u>0.99</u>	0.93
	3年(R5)	1.00	0.94	0.91	0.94	0.91

### ③ 前年度までの学年との比較(対大阪府比)

		国語	社会	数学	理科	英語
3年	R3	0.98	<u>0.92</u>	0.89	<u>0.98</u>	0.93
	R4	1.00	1.03	1.00	1.00	0.95
	R5	1.00	0.94	0.91	0.94	0.91

## 《アンケート結果より》

○学級の雰囲気、他者との協働、挑戦心等において、7～9割程度の生徒が肯定的な回答をしている。

○7割以上の生徒が、日常的に短時間であっても読書をしている。

▼授業中に自分の考えを整理したりまとめたりする場面はある一方、大事な部分や要点を考えて読んだり、家で自身に必要な部分を考えて勉強したりすることに課題がある。

▼各ツールで社会的な出来事に関するニュースを見る機会が少ない。

▼学習以外にスマートフォンやタブレットを日常的に長時間使っている生徒が多い。

## 《今後の取組み》

・本調査の結果及び分析内容を市域全体で共有し、学校は自校の実態に応じた分析に基づいた取組みを行う。

・学力向上推進委員会で掲げる「思考力・判断力・表現力の育成～主体的に学び、自ら考え、その考えや思いを表現できる子どもを育てる」を基盤に、市の方向性や各学校の取組み内容の共有、実践発表等に基づいた授業づくりの研究を推進する。

・とりわけ「複数の情報から必要な情報を集約する」「必要な情報に基づき自分の考えを表現する」「主体的な家庭学習や自主学習につながる」活動を授業に取り入れることを意識する。

・特に今年度は、学力向上推進委員会を各学校の主体的な研修の場とし、情報発信や情報交換にとどまるのではなく、自校の取組みを発信する機会を多く設ける。

・ICT機器については、学力向上推進委員会やICT教育推進リーダー会議において効果的な活用方法を共有し、特に児童生徒自身の活用を推進する。ただし、端末の特性や保管状況などの環境もふまえ、「必要な時に効果的に活用する」ことを意識した活用をめざす。

## 《家庭にお願いすること》

### ① 基本的な生活習慣の定着

・発達段階に応じた適切な睡眠を取るよう促し、適切な生活リズムを意図的につくる。

・朝ごはんを食べるように促し、学校での学習の質の向上につなげる。

### ② 家庭学習・主体的な学びへの支援

・発達段階に応じて家庭学習の適切な時間を定め、学習習慣を定着させる。

・宿題だけではなく、興味関心に基づき、子どもが主体的に家庭でも学習できるように支援する。

### ③ スマートフォンやPC、ゲーム等の使用について

・スマートフォンやPC、ゲーム等の使用状況を把握し、時間や使い方について適切なルールを決める。

・タブレット端末等のICT機器を活用した学びができるように支援する。